

募集

初心者茶道教室

お茶とお菓子をいただきますながら、茶会でのあいさつなど一連の動作を体験しませんか。

- 日時 1月29日(火)／午後1時～3時、2月5日(火)・12日(火)・19日(火)／午前10時～正午
- 会場 南湖公園「翠楽苑」
- 受講料 ▼4回分 3,000円(入園料等も含む)
- 定員 10人 ※先着順ですが、原則として4回の参加が可能な方

文化財防火デー

1月26日は、文化財防火デーです。貴重な文化財を災害から守るため、市および白河消防署では、地元消防団の協力を得て、次の日程で防衛訓練を行いますので、ご協力をお願いいたします。

なお、当日は、消防署および消防団員が出勤しますので、火災と間違えないようご注意ください。

●日時 1月27日(日)／午前9時30分から

●場所 清水寺(表郷金山)
●本庁舎文化財課 ☎272310

国民年金基金制度

国民年金基金は、自営業者や農業従事者などの国民年金第一号被保険者の方がゆとりある老後を過ごせるよう、国民年金に上乗せする公的な年金制度です。

国民年金に加入している20歳以上60歳未満の方が、国民年金基金に加入できます。加入は任意で、現在の状況や将来設計にあわせたプラン設定

●申込方法 1月4日(金)から受付開始(電話申込可)
●翠楽苑 ☎236888

白河准看護学院学生

●受験資格 高校卒業(見込みを含む)、または同等の学力を有する方(中学校卒業でも履修が可能と認められる方を含む)※年齢不問

●定員 30人

●試験科目 国語、数学、作文、面接

●試験日 2月7日(木)

●試験会場 白河医師会白河准看護学院(北中川原)

●受付期間 1月8日(火)～24日(木)(郵送は期間内必着)

※受験要項・出願書類を郵送希望の場合は、送付先の住所・氏名を記入のうえ、140円切手を貼った角2号封筒を同封してお申し込みください。

●白河医師会白河准看護学院 〒961-0054白河市北中川原313 ☎233701

サテライト教室

「白河の未来を考えよう」東日本大震災の被災者支援と

経済・経営の観点からまなぶまちづくり」をテーマにサテライト教室を開催します。

●日にち・内容・講師 ①2月17日(日)／「この時期に必要な被災者にとっての支援とは何かI」／うつくしまふくしま未来支援センター特任准教授 天野和彦氏 ②2月24日(日)／「この時期に必要な被災者にとっての支援とは何かII」／同特任准教授 天野氏

③3月3日(日)／「東日本大震災の教訓と豊かな福島未来を考える」／福島大学経済経営学類准教授 奥本英樹氏 ④3月10日(日)／Being Smaller, Being Wealthier...

人口減少社会を豊かにするには」／同大学経済経営学類教授 西川和明氏

●会場 市立図書館中会議室(道場小路)

●受講料 ▼一括受講(全講座分) 3,500円 ▼個別受講(1講座分) 1,000円

●定員 40人

●申込期限 2月8日(金)

※定員になり次第締切

●申し込み・問い合わせ先 本庁舎生涯学習スポーツ課 内2382

が可能です。

年金受給前や保証期間内に亡くなられた場合、ご家族に一時金が支払われます(保証がないタイプもあります)。掛金は全額が社会保険料控除、受け取る年金は公的年金等控除の対象になり、税制面で優遇されます。

●福島県国民年金基金 ☎0120-65-4192 / ホームページ: <http://www.fnjp.or.jp/>

白河市除染実施計画の策定

これまでの「白河市除染計画」は、11月28日付けで環境大臣の同意を経て、「白河市除染実施計画」に移行しました。今後は、この計画を基本として、さらなる除染を進めていきます。

なお、詳しくは市ホームページをご覧ください。

●本庁舎放射線対策室 内2188

県民健康管理調査

基本調査問診票

県では、「県民健康管理調査

案内

慢性腎臓病「CKD」

予防講演会

慢性腎臓病「CKD」とは、腎臓に異常がある場合のすべての総称で、急増している腎臓病の早期発見・早期治療を進めるために導入された概念です。日本人の腎障害は増加傾向にあり、生活習慣を見直すことが必要です。市では、CKD予防のための医師による講演会を開催します。

●日時 1月30日(水)／午後1時30分から

●会場 中央保健センター(北中川原)

●対象 健診の結果、高血圧だった方、血糖値が高めだった方、クレアチニン値とeGFRが要指導・要医療の方、またCKDに興味関心のある方

●講師 白河病院内科部長 和久昌幸医師

●申込期限 1月25日(金)まで

●申し込み・問い合わせ先 本庁舎健康増進課 ☎272112

地域のオリジナル音楽祭。バラエティに富んだ様々なジャンルの音楽をお楽しみください。

●日時 2月3日(日)／午後0時50分から

●場所 東文化センター(東釜子)

●入場料 無料

●東音楽フェスティバル実行委員会(東庁舎教育振興課内) ☎343146

ハートライン(いじめ相談電話)

市では、いじめ問題に悩む子どもや保護者のため、相談専用電話を設置しました。

●名称 ハートライン(いじめ相談電話)

●電話番号 0800-800-1893 (フリーダイヤル)

●受付時間 午前9時～午後4時(平日のみ)

●対応内容 電話相談は、本庁舎学校教育課が担当します。相談された内容は、学校等と連携し解決に努めます。

●本庁舎学校教育課 内2361

案内

「心の救急法」学習会

身近な人の悩みの聴き方を学びませんか。

●日時 1月30日(水)／午後2時～4時

●会場 市立図書館中会議室(道場小路)

●内容 ▽講演・演習「心の救急法」悩みの聴き方のコツを学ぼう▽講師 逸見京子氏(県南保健福祉事務所)

●申込方法 1月28日(月)までに、電話またはFAXでお申し込みください。

●申し込み・問い合わせ先 県南保健福祉事務所がい者支援チーム ☎25649 / FAX25451

健康チェック&浜っこサロン

「健康チェック&浜っこサロン」では、お気軽にお話しができる場所を提供するとともに、避難先での仕事探しに不安を感じている方に、仕事に関する相談を行っています。

●日時 1月16日(水)／午前10時～正午

●会場 ハローワーク白河地下1階会議室(郭内)

●対象 浜通りから県南地域に避難されている方および県南地域にお住まいの方

●ハローワーク白河 ☎241256

まちかど伝言板

新春初笑い寄席

●日時 1月19日(土)／午後2時から

●会場 はくしんイベントホール(旭町)

●出演 三遊亭円左衛門、瀧川鯉和

●入場料 500円(75歳以上無料)

●(財)立教志塾 ☎1427 / (社)白河法人会 ☎2160

アイスキャンドル2013

アウシュヴィッツ収容所の解放記念日(1月27日)に、ヨーロッパでは犠牲者を追悼し命の尊さを伝えています。

市ホームページバナー広告

市では、ホームページに掲載するバナー広告を募集しています。バナー広告とは、画像をクリックすることによって広告主のホームページへ誘導する効果のあるインターネット広告の一種です。なお、公共性を損なう恐れのある広告は掲載できません。

●広告料 掲載1か月につき2万円(縦60ピクセル×横150ピクセル)

●申込方法 申込書に、作成したバナー広告のデータを添えて、本庁舎秘書広報課へお申し込みください。

●本庁舎秘書広報課 内2373

同記念日にちなみ、戦争犠牲者と東日本大震災の犠牲者を追悼するアイスキャンドルを行います。

●日時 1月26日(土)／午後5時から

●会場 アウシュヴィッツ平和博物館(白坂)

●アウシュヴィッツ平和博物館 ☎2108

放送大学

放送大学では平成25年度第1期(4月入学)の学生を募集しています。

放送大学は、テレビの放送やインターネットを利用して授業を行う通信制の大学です。心理学・福祉・経済・歴史・文学・自然科学など、幅広く

い分野を学べます。●出願期限 2月28日(木)まで ●申し込み・問い合わせ先 放送大学福島学習センター ☎024-921-7471

大学通信教育合同入学説明会

大学通信教育を行っている大学・大学院・短期大学による合同説明会を開催します。

●日時 2月10日(日)／午前11時～午後4時

●会場 仙台市情報・産業プラザ アエル5階(宮城県仙台市青葉区中央)

●対象 一般および高校生

●参加料 無料

●公益財団法人 私立大学通信教育協会 ☎03-381813870



市長の手短え帖

『巳年に思う』

白河市長 鈴木 和夫

明けましておめでとうございます。暮れの選挙で国政は再度、自民・公明に委ねられた。政権担当の力を欠いた民主に厳しい審判だった。確かに、内紛の連続で政治主導がいつの間にか官僚主導になるなど、稚拙な運営であった。しかし、前政権の負の遺産にも苦しんだことは割引いて考えてやるべき。要は、20年近く漂流する政治全体に責任がある。世界の賞賛を浴びたかつての成功モデルは、通用しない。あれは、冷戦下で平和に恵まれ、人口も増え、ひたすら経済に専念できた時代の話。少子高齢化の衝撃、デフレに経済低迷、波高い東シナ海。激しく変わる環境に適応するには、国民と対話しつつ、的確かつ大胆な政策を打ち出すことが必要。我々は、変わらなければならない。「脱皮しない蛇は滅びる」と先人はいう。

今年巳年。可哀想に蛇は好かれぬ。人のそばに犬や猫のように、愛玩の対象にならない。勿論、トラさんクマさんのように、落語に登場する愛嬌もない。しかし、古代では強い信仰を集めていた。エジプトなど地中海では賢さと強さで崇められ、ギリシャ神話では大地や水と結びつけられた。旧約聖書では、モーゼ率いるユダヤの民が青銅の蛇で邪悪を払う。中国では、天の四方を守る霊獣のうち、北を司る玄武は亀と蛇の姿で表される。日本でも奈良三輪山や赤城山の大明神

は蛇であり、白蛇は幸運の象徴とされる。また鏡餅はとぐろを巻く姿、みかんは光輝く目を表すという説もあり、蛇は民衆の生活に溶け込んでいた。蛇に対する信仰は、何度も殻を破り、たくましく命を永らえる「脱皮」にある。そして太古の人は、これを復興と再生のシンボルとし、畏敬の念を抱いていた。

子どもの頃、ヘビは身近だった。巢のヒナがキャーキャー口をあけている。音もなくしのび寄るヘビ。餌を運んできた親つばめの金切り声があくしく響く。自然の厳粛な営みを息を詰めて見上げていた。太く長い青大将が土蔵の白壁を這いあがる。子どもが黄色い声で石を投げつけるが、悠然と窓から暗闇に消える。蔵の守り神だからいじめると祖母に諭される。不思議とこれが気にかかっていた。駄々をこねたり、喧嘩したりすると「蔵に入るぞ」と叱られる。暗く冷たい蔵の中、いじめたヘビがチヨロチヨロ舌を出し、米俵の上にとぐろを巻くのを想像し、ゾッとしたものだ。

夏休みの楽しみは水泳。照りつける日射しの中、子どもらは味噌・塩を懐に、赤く濁った小道を急ぐ。目の先に真横に伸びた棒きれ。近づくとヘビの昼寝。一瞬息が止まる。夜更かししたのか、逃げようともしない。土手の上で、こっそり頂戴したトマトやキュウリを口にしながら休んでいる。すると、その隙をぬい、高速船のように身をくねらしたスイマーが川を渡っていく。家の前を流れる小川の岸辺で、灰色の細長くすき透る縞模様をよく見かけた。脱皮したヘビのぬけ殻とわかつたときは、何か常のものではない神々しさを

感じた。嫌いな人ほどヘビに目ざとい。かつては春から夏にかけて、畦や茂みや山道でたびたびお会いしたものだ。近頃は目にすることも減ってきた。好ましいのかもしれないが、人の近くにヘビが生息し、互いに「望まない」出合いが日常的にあるのが健全に思える。

大震災からもうすぐ2年。津波・原発でいまだ多くの人が苦しんでいる。普通の生活を取り戻す道のりは遠い。双葉の人々は戻れるあてなし、住む家なし、仕事なし。物的賠償も決まらず仮設住宅で不自由な暮らしを強いられている。気持ちがあえていくのを誰かがめられようか。国内に流浪の民が出ることを、やむなしとする為政者はいる筈もない。しかし、その恐れは否定できない。的外れの政策や救済の遅れ、制度の不備により放置されるとしたら国の恥。かつて、満州開拓民は国の呼びかけに応じて入植。辛酸をなめたにもかかわらず、戦乱の中で棄民となった。被災者を守れずして、愛国を口にしても嘘っぽく聞こえる。

白河では、市営住宅を除き災害復旧はほぼ終わる。地元のご協力で仮置場も順次決まり、本格的除染を進める条件が整った。内部被ばくを測るホールボディカウンターの設置も決まった。また年内に市民文化会館の建設にも着手し、三菱ガス化学の用地造成も終了する。ご心配の小峰城石垣の修復もこの夏から始まる。話題のドラマ「八重の桜」にも、戊辰の決戦の地として白河が登場する。松方弘樹主演の映画も白河をロケ地に撮っている。今年も皆さんと一緒に元気に歩いていきます。